

コア・コンピタンス

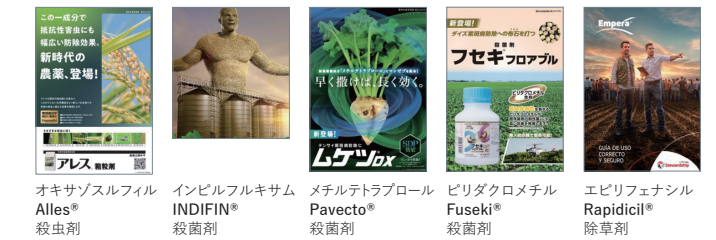
住友化学は100年以上の歴史の中で培ってきた「幅広い技術基盤を活かしたソリューション開発力」「グローバル市場へのアクセス」「エンゲージメントの高い多様な人材」の3つをコア・コンピタンスと認識しています。これらを最大限に活かし、食糧、ICT、ヘルスケア、環境の4つの社会課題の解決を通して、企業価値向上に取り組んでいきます。



農薬パイプライン「B2020・A2020」におけるコア・コンピタンスを活かした価値創出プロセス

B2020・A2020は当社が2020年前後に登録申請を開始した農薬パイプライン群です。2020年から2024年まで5剤の化学農薬を上市しましたが、これは同期間の世界の新規化学農薬上市数のうち15%をも占めています。各パイプラインの「開発・評価」「登録・上市」「販売・普及」の価値創出プロセスの中で、当社の持つ3つのコア・コンピタンスをどのように活かしてきたかを紹介します。

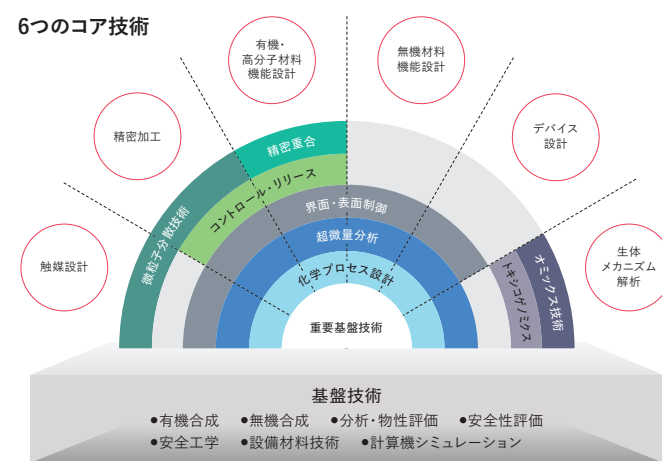
「B2020・A2020」製品群



幅広い技術基盤を活かしたソリューション開発力

住友化学は、あくなき探求心と独創的な技術で新しい領域に挑み続けてきました。当社はその長年にわたる広範な研究活動を通じて、6つのコア技術を確立しています。これらのコア技術を活かし、世界の社会課題やトレンドに対する新たなソリューションを生み出すべく研究開発に取り組んでいます。「創造的な研究開発こそが新たな時代を築いていく」という信念のもと、今後もソリューション開発力の強化に努めていきます。

6つのコア技術



グローバル市場へのアクセス

住友化学グループは、グローバルでの住友化学ブランドの構築を目指し、最適な技術・立地・パートナー・人材を組み合わせることで、世界中に事業を拡大してきました。当社グループの現在の海外売上収益比率は約7割に達しています。今後も当社グループの競争力ある事業を積極的に世界の市場へ展開し、持続的な成長を実現していきたいと考えています。

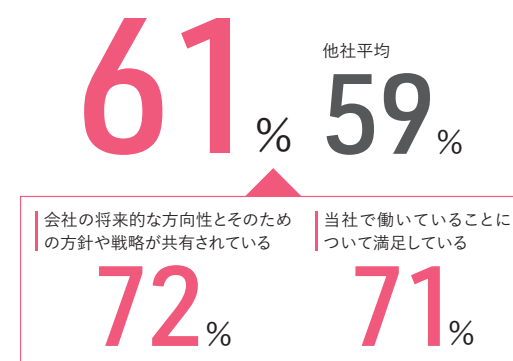
海外拠点数 (2026年4月時点)

56 拠点

エンゲージメントの高い多様な人材

社員の意識と事業活動のつながりを示す「エンゲージメント」が高いこと、また人材のバックグラウンドが多様であることは、当社の大きな強みの一つです。2025年度に実施した全社員対象の意識調査では、「会社の将来的な方向性とそのための方針や戦略が共有されている」と感じている社員が72%に達し、経営方針やビジョンの浸透が進んでいることがうかがえました。これらのエンゲージメント関連指標のポジティブ回答割合は61%（他社平均59%）となっており、今後も人事制度や施策の見直しを通じてエンゲージメントをさらに高めていきます。

住友化学 社員意識調査 (2025年度・単体全社員平均)
エンゲージメントスコア※



※エンゲージメント関連指標におけるポジティブ回答割合

開発・評価

将来の課題を見据えた探索戦略・評価系の構築と新規化合物創出

QoI剤耐性菌の発生に着目し、計算科学を活用しつつ独自ライブラリのスクリーニングを行い、化合物の「種」を発見。経験に基づき構造をデザインし、Pavecto®を創出。

登録・上市

各国の厳しい農薬登録基準を満たす規制科学を推進

農薬登録規制が厳格化する中、サイエンスに基づく安全性・環境評価に加え、規制科学に基づく各種評価の企画・実施を統合的に推進。

販売・普及

幅広い技術基盤を活かした上市後の価値最大化

INDIFLIN®, Pavecto®, Rapidicil®等の上市後も、各国での混合剤開発や適用拡大などにより継続的に付加価値を向上し、B2020・A2020製品群の価値を最大化。

グローバル展開を見据えた研究開発

農薬候補化合物の開発初期から世界展開を想定し、北米・南米・欧州・アジアを含む各地の拠点と密接に連携しながら研究・開発を推進。

グローバルな同時登録申請に向けたデータパッケージの設計・構築

主要国の規制要件を踏まえてデータパッケージを設計・構築し、INDIFLIN®では、2017年に日本・米国・カナダ・ブラジル・アルゼンチンで同時に登録申請実施。

盤石なグローバルフットプリント

農薬市場TOP6のうち、ブラジル、米国、アルゼンチン、インド、日本で強固な自社販売網と安定したグローバル製品供給体制を構築。

多様なバックグラウンドを持つ研究者が協奏して農薬を創出

合成、生物、製剤、プロセス、分析、毒性評価、DXなどの多様なバックグラウンドを持つ研究者が連携し、農薬創出に向けて協奏。

高い専門性を持つ人材に支えられた迅速な農薬登録取得

高い専門性を持つ人材が、農薬最大市場ブラジルでの優先審査制度を活用しつつ当局と円滑なコミュニケーションを行い、INDIFLIN®の迅速な農薬登録取得を実現。

多様な人材が支える上市後の価値向上

農薬の上市後も、製販研一体となって品質改善・混合剤開発・適用拡大等を継続し、顧客提案力強化と製品価値向上を実現。